

さいたま市図書館評価(平成22年度)

【目標】	図書館利用の普及	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>市民の図書館に対する関心を高め、利用の拡大を図るため広報活動を積極的に進めます。実利用登録率をさいたま市の人口増加率より下回らないように努めます。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
実利用登録率	21.5%	20.3%	D
貸出総数	10,832,853点	11,237,625点	A
来館者数	7,101,514人	7,372,593人	A
記者発表件数	1件	11件	A

【評価説明】
<p>さいたま市の人口は平成21年度が1,226,487人、平成22年度が1,235,207人で、約0.7%増加しています。「実利用登録率」は人口増加率を下回ったので低い評価としました。「貸出総数」「来館者数」「記者発表件数」は、前年度よりも実績を上げており、高く評価しています。</p> <p>4つの指標のうち一つはDを付けていますが、他の指標の評価が高く、全体の評価はBとしました。</p>

【目標】	あらゆる世代に向けたサービスの充実	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>「さいたま市子ども読書活動推進計画」に基づき、各図書館において、子どもたちが本に親しみ、楽しめる環境づくりに努めます。</p> <p>また、ビジネス支援や、高齢者の向学心に応える事業を充実させます。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
子ども向け行事開催数、参加者数	1,140回	1,135回	B
	24,855人	25,306人	
ビジネス関連行事開催数、参加者数	20回	13回	C
	183人	60人	

【評価説明】
<p>「子ども向け行事」に関しては、震災による行事の中止が影響して実施回数が減っていますが、参加者数は増えており、全体としては増加傾向と言えます。「ビジネス関連行事」については、実施回数・参加者は減っていますが、ビジネス相談会は順調に開催しており、ビジネス支援行事として定着しています。</p> <p>両方の事業の結果を併せて検討し、評価はBとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成22年度)

【目標】	バリアフリーサービス	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>図書館を利用するときに障害がある方や高齢者も、図書館を利用しやすいように、きめ細かいサービスに努めます。「読書に障害のある方」のためには録音図書や点字図書、点訳絵本の作成・貸出、対面朗読などを行います。「聴覚に障害のある方」にも手話字幕入りの映像資料などを整備します。図書館への来館が困難な方には宅配サービスを行います。音声パソコン、録音再生機器などの利用普及を図ります。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
音訳資料貸出数	8,637点	10,263点	A
対面朗読回数、時間数	208回 358時間30分	239回 429時間	A
点訳資料作成数	32点	18点	評価せず
点訳資料貸出数	6点	8点	B
手話字幕入り資料の受入れ数	-	-	評価せず
宅配サービスの実施	0件	54件	評価せず

【評価説明】
<p>「音訳資料貸出数」と「対面朗読回数・時間数」はともに約2割増となっており、高い評価としました。評価せずとした項目では、「点訳資料の作成」は、全面的にボランティアに依頼しており、職員の行う部分がないことから評価対象外としました。また「手話字幕入り資料」は件数が不明のため、「宅配サービス」は平成22年3月から実施をしたもので、前年度との比較ができなかったため、それぞれ評価しませんでした。</p> <p>全体としては、図書館を利用するときに障害がある方や高齢者に対して幅広くサービスを提供できていると判断し評価をAとしました。</p>

【目標】	学校図書館との連携	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>学校図書館支援センター(北浦和図書館)による教科関連図書の貸出しや、大宮西部図書館による大型団体貸出を行います。また、学校訪問や学校招待等、学校担当者との連携を進めます。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
教科関連資料貸出数	62,139点	76,187点	A
大型団体貸出数	27,219点	32,904点	A
学校訪問・招待の実施回数、参加人数	124回 5,726人	139回 6,445人	A
職場体験の受入件数	69件	85件	A

【評価説明】
<p>さいたま市の児童・生徒数の動向は、平成21年度から平成22年度の推移で見ると、小学校児童数が68,368人から67,781人(99.1%)、中学校生徒数が31,275人から31,217人(99.8%)でした。(『教育要覧平成22年度版』より)</p> <p>対象となる児童、生徒数が減少しているにもかかわらず、評価対象とした指標の多くで2割近く数字を伸ばしており、十分な結果が出ているものとして評価をAとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成22年度)

【目標】	文化事業の開催	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>各図書館において、市民の要望を把握して、講座、講演会、映画会、展示会などを開催し、市民の文化活動、読書活動を支援します。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
講座等の実施回数、参加人数	100回 3,762人	109回 3,730人	A
映画会開催回数、参加人数	130回 5,344人	116回 5,177人	C
展示会の開催数	2回	4回	B

【評価説明】
<p>「講座」については21年度と同程度の内容を維持することができたこと、回数が増えたことを高く評価しました。「映画会」については、減少傾向により低い評価としています。「展示会」は前年と同程度と評価しました。</p> <p>全体としては、前年と同程度の活動を行ってきたものと判断し、評価はBとしました。</p>

【目標】	情報通信機器を活用したサービスの充実	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>メールによるレファレンスサービス(調べもの相談)に加えて、22年3月に開設したメールマガジンを使って、図書館の情報やお知らせをご希望の方に配信します。また、ホームページの充実に努めます。図書館ネットワークの整備を一層進め、また、インターネット端末を順次整備して、正確で迅速な検索システム整備に努めます。有料データベースをはじめ、館内で市民が情報収集できる環境を整備し、職員は利用のサポートをします。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
メールレファレンス受付件数	175件	103件	D
ホームページアクセス数	-	5,143,308件	評価せず
インターネット利用人数	116,943人	140,575人	A
市民向け調べ方講習会開催数	-	1回	評価せず

【評価説明】
<p>指標のうち、「ホームページアクセス数」は21年度の数値が得られなかったため、「市民向け調べ方講習会」は22年度からの新規事業のため、評価対象としませんでした。評価の低かった「メールレファレンス件数」は、数字としては大幅に減っていますが、前年は加算していた利用案内にあたるもの等を、除くようになったことから減少したという事情もありました。</p> <p>全体の評価は、インターネット利用人数の大幅な増加も考慮し、前年並みの成果は出ていると判断しBとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成22年度)

【目標】	幅広く計画的な資料の収集と除籍資料の有効活用	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>資料の「収集・選択」及び「除籍・保存」に関する基準に基づき、各図書館の特色を生かした、効率的、計画的な資料収集に努めます。中央図書館ではビジネス支援、子育て支援、医療情報、法律情報などの各コーナーの充実を図ります。各図書館においても、暮らしに役立つ資料、情報を地域の実情にあった資料の収集に努め、市民のデータバンクとしての機能を充実させます。除籍資料や図書館で受け入れの対象にならなかった寄贈資料は、本として再利用できるよう一層の有効活用を検討します。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
資料購入点数	127,981点	100,748点	C
見計らい回数	48回	45回	B
資料回転率	3.2点	3.3点	A
寄贈資料受入点数	21,263点	21,373点	B
除籍資料点数	84,237点	76,901点	評価せず
資料リサイクル数(比率)	-	-	評価せず

【評価説明】
<p>全体として、前年並みの活動は維持されていると考えられます。購入点数は、目標値を約2割下回っていますが、資料費の減少等に伴うものであり、活動自体の停滞を意味するものではなく、その他の項目は概ね目標値に達しています。また、資料の有効活用に向けて、体制の整備も進めていることから、全体の評価はBとしました。</p> <p>なお、除籍資料点数は、21年度については、旧システムであったため除籍理由を把握できず評価外としました。資料リサイクル率は、算出することが出来ませんでした。</p>

【目標】	レファレンスサービス(調べもの相談)の充実	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>より専門性の高い調べ物は専門機関への紹介に努めます。計画的、継続的に専門業務の職員研修を行い、市民の多様な要望に応えられるよう努めます。調査相談業務の事例をデータベース化し、ホームページ等で事例の公開をします。</p> <p>調査相談事業の広報を行い、市民の利用を促します。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
レファレンス受付件数	59,900件	61,217件	B
データベース利用回数	2,870回	2,506回	C
レファレンス事例の公開	29件	72件	A
パスファインダー作成	2タイトル8回発行	3タイトル12回発行	B
職員レファレンス研修の開催	9回	8回	B

【評価説明】
<p>「データベースの利用回数」は減少したものの、その他の指標は、増加か前年並みとなっています。特に「レファレンス事例の公開」は、大きく件数を伸ばしました。</p> <p>「データベースの利用回数」でCを付けていますが、概ね、前年並みかそれ以上の成果は上がっていることから、全体の評価はBとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成22年度)

【目標】	市民意見の反映	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>市民や識者の意見を聴くため、図書館協議会を年間3回開催して図書館運営の一層の充実を図ります。図書館協議会の議事録はホームページで公開します。「わたしの提案」による公聴制度やホームページを活用して図書館への希望、意見、情報を広く取り入れ、信頼関係を築きます。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
アンケートによる満足度調査	-	1回	B

【評価説明】
<p>指標には取り上げられていませんが、図書館協議会の年3回開催、及び議事録の公表は実施されており、「わたしの提案」や図書館HPの問合せ機能による意見の吸上げ、回答も行っています。</p> <p>「アンケートによる満足度調査」は21年度未実施に対して、22年度は実施しており、その結果を基に、図書館の運用を検討していますが、まだ、アンケートの結果を組織的に反映させるところまでは出来ていないため、全体評価としてはBとしました。</p>

【目標】	関連機関との連携	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>県立図書館や他の市町村図書館と連携し相互貸借や郷土地域資料の分担収集・分担保存を行います。</p> <p>病院や福祉施設への出張サービス、博物館や他の文化施設と連携した事業を行います。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
連携事業実施機関数、延実施回数、参加人数	1機関 11回 369人	2機関 11回 484人	A
相互貸借件数(県内のみ)	15,682件	17,112件	A

【評価説明】
<p>「連携事業」については前年度と比較し、参加人数が増加したことから、連携をしている機関が増えたことを考慮し評価をAとしました。</p> <p>「相互貸借件数」は、県内の図書館を対象に行った貸出・借受の全ての件数で、約9%の増加となっています。連携件数が増加していることから、評価はAとしました。</p> <p>全体としては、前年以上の活動が行われたと判断し、評価はAとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成22年度)

【目標】	関係団体との協働	【評価】	B
【取り組み内容】			
<p>障害のある方や児童へのサービスにかかわるボランティア団体等と連携した活動、共催事業の開催などを行います。子育て支援課によるブックスタート事業においては、ボランティアと協力して、赤ちゃんと保護者が絵本を介して楽しい時間を過ごせるよう努めます。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
ボランティア人数	803人	808人	B
ボランティアとの協働事業数、延実施回数	67行事、574回	76行事、597回	B
ボランティア団体数	35	37	A
ブックスタート参加人数	6,769人	6,750人	B

【評価説明】
<p>「関係団体との協働」は、前年と同程度の活動を展開できています。中でも、協働する団体が増加した点は、高く評価しました。</p> <p>「ブックスタート」は、前年度とほとんど代わらない参加人数であるため、評価をBとしました。</p> <p>全体としては、概ね前年以上の活動を行っており、目標の評価はBとしました。</p>

【目標】	施設・設備の充実	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>より快適で使いやすい図書館とするため、施設・設備の改修に取り組み、サインなどわかりやすい案内表示に努めます。</p> <p>昭和56年以前に開館した図書館は計画的に耐震診断を行い安全な施設を目指します。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
昭和56年以前開館の図書館の耐震診断		北浦和図書館 大宮図書館	A

【評価説明】
<p>より快適で使いやすい図書館とするという目標のもと、閲覧スペースの有効活用を図るため、東浦和図書館においてレイアウト変更を行いました。また、安全安心な施設であるために、北浦和図書館、大宮図書館、大宮西部図書館などで施設設備の修繕を、与野図書館では外壁工事を行いました。</p> <p>「耐震診断」については、昭和49年開館の北浦和図書館と昭和48年開館の大宮図書館について行いました。北浦和図書館は、耐震補強を平成24年設計、平成25年工事の日程により行うこととし、大宮図書館は工事不要と診断されました。なお、与野図書館、岩槻図書館については平成23年度に耐震診断を実施します。</p> <p>目標に沿って、予算措置の可能な限り実施しており、全体の評価はAとしました。</p>

さいたま市図書館評価(平成22年度)

【目標】	図書館の整備	【評価】	A
【取り組み内容】			
<p>武蔵浦和駅前の再開発地区に武蔵浦和図書館を開設するため、1,300㎡の用地取得と蔵書8万冊のうち1万冊を購入し、平成24年度の開館を目指し準備を行います。</p>			

指標	目標値	22年度実績	指標別評価
武蔵浦和駅第1区第一種市街地再開発B1ブロック公共施設棟保留床取得(用地費)		430,000千円	A
武蔵浦和図書館資料整備点数		一般書 8,500冊 児童書 3,500冊	A

<p>【評価説明】</p> <p>武蔵浦和図書館の開設にあたり、平成21年度中に権利変換計画認可、および着工が行われています。平成22年度、武蔵浦和駅第1区第一種市街地再開発B1ブロック公共施設棟保留床取得(用地費)については、約2億円のまちづくり交付金を受けた予算措置により、保留床を取得しました。武蔵浦和図書館の開設については、関係各課と調整をしながら遅滞なく進んでいます。</p> <p>開館時に8万冊の資料をそろえるため、平成22年度から購入を開始しています。既に、約1万2千冊の資料を選定、確保しています。</p> <p>どちらも順調に進んでいることから、全般的な評価をAとしました。</p>
